

令和元年度 しのぶ育英奨学金受給生からの言葉

人間発達文化学類2年

しのぶ育英奨学金をいただけたことにより、アルバイトに時間を費やさず、学習の時間をしっかり確保することができました。教育分野の科目や英語の専門科目を多く履修し、授業の構成方法や教育の歴史、英語の音声の成り立ちや形態などについて学んで理解し、しっかり極めることができました。

私は、小学校、中学校と高校の英語の教員免許を取得したいと考えています。教育実習がある3年生では、授業で学んだ指導案作成の方法や授業の構想、教材研究などを生かし、自分の成長や将来に繋げることのできる実習にしようと思います。また、学習ボランティアへも挑戦しようと考えており、実際の授業の様子を見たり、子どもたちと関わったりして、多くの学びを得ようと思っています。4年生では、教員採用試験の勉強や卒業論文の構成が主な学習になると思います。4年間の学びを振り返って試験対策の勉強に励みたいです。そして、卒業研究の時間を確保して自分の考えを整理し、卒業論文の完成度を高めたいです。

人間発達文化学類3年

この1年間は、学内での学びに加え、特別支援学校と中学校での教育実習への参加や自身の音楽活動の充実、部活動への積極的な参加等、様々なことに挑戦しました。2度の教育実習においては、講義だけでは得られない実践的な学びによって、自分自身に足りない視点や能力を知ることができました。また、自分の将来なりたい姿について真剣に考える機会があり、インターンシップ等へ参加したことで、視野が広がり、人間としても成長することができました。しのぶ育英奨学金をいただけたことにより、学業さらには自分自身と真剣に向き合えることができたと感じています。

4年次の特別支援学校応用実習および小学校での教育実習に向けて、これまで3年間で積み上げてきた学びを整理し、教育に携わる人間としての資質能力をより高めていきます。また、学内では、大学4年間の集大成として、今までよりもより一層、自身の専門分野である音楽に真剣に向き合い、卒業演奏ならびに副論文の作成に取り組んでいきます。さらに、将来自分がなりたい姿の実現の第一歩として、福島大学生のキャリア形成を支援するような活動に取り組みたいと考えております。これまでしのぶ育英奨学生としてたくさんの方々にご支援していただいた恩を、未来の福島を担う福島大学生のキャリア形成に貢献する形で返していきたいと考えております。

行政政策学類学類2年

しのぶ育英奨学金をいただけたおかげで、学習に費やせる時間が増え、熱心に、そして真面目に取り込むことができました。自宅で十分な学習をするための時間を得ることができたため、不思議に思った箇所やわからなかったところなどを深く追求し、理解に努めることができました。ゼミの学習ではパワーポイントの作成や発表のグループワークがありましたが、友人とわからない点を互いに教え合ったり考え合ったりすることもでき、自らもどんどん意見を出し、より良いものへとする工夫をしました。発表が終わった後には、私自身に足りない点や改善すべき点を改めて確認することができ、次に繋がる取り組みをすることができました。

3年生では、これまで学んできた内容を更に深く学ぶとともに、新しい学習にも積極的に取り組みたいと思います。実際に福島市に関わりながら学ぶ機会や活動する機会があり、社会へ出るための前段階の今、机上の学習だけでは得られない学びが多く待っていると思います。しかし、その前にはやはり知識を養うことも重要であるため、どちらも疎かにすることなく真摯に取り組んでいきます。そうして得た学びを今後の自分自身に活かすために振り返ることも忘れないようにしたいです。

行政政策学類学類3年

3年生からゼミナールが始まり、自分の関心を持った判例を用いて、文献調査をし、内容に関して先生やゼミ生と多角的視点で議論することによって、実社会における民法の役割を学びました。具体的には、節税目的の養子縁組の有効性についてや介護事件、技能実習生事件などの様々なテーマから判例を扱い、ゼミ内で報告を行いました。この学習を通して、日々ニュースなどで取り上げられる事件・事例などに積極的に関心を持つようになり、さらにそこに含まれている法律的要素や効果などを考えるようになりました。それだけでなく、法学分野以外の授業で学習するにあたって、ゼミで学んだことと関連させたり、応用させたりすることができ、様々な事に広く関心を持って学習を進めることができたと思います。

ゼミ内では、様々な判例を扱い、研究を進めてきましたが、その中でも特に技能実習生事件について強い関心を持ちました。日本では、これまで何度かの法制度の改正を行いながら、様々な国から多くの技能実習生を受け入れ、深刻化する人材不足を補う取り組みをしてきましたが、その中で、違法な長時間労働や低賃金といった問題も多く起こってきました。法改正あるいは新制度設立の前後で問題は改善されたのかどうか、判例研究を進めながら、自分の興味ある多文化共生のあり方とも関連させて考え、学習を進めていきたいと思います。また、学内の学習だけでなく、資格試験等の勉強も進め、自分の能力や可能性を広げていきたいと思います。

共生システム理工学類3年

昨年度までは生活費を捻出するためにアルバイトをしており、学業との両立が困難な状況にあり、満足のいく学習が行えていませんでした。しのぶ育英奨学金をいただいたことにより、経済面や精神面でゆとりを持つことができ、学業に集中することができました。後期からは第1希望の研究室に配属され、実習が多くなり、遅くまで研究室で作業をしています。研究室では自主勉強を積極的に行い、演習や課題の際に友人に教えたり討論したりすることによって、お互いに切磋琢磨できるように努力し続けています。

私は地盤沈下や地下水流動に興味関心があり、それらについての知識を深められるような学習をしていこうと考えています。現在、知識を取得し理解を深めているところですが、今後、得た知識を実践でも扱えるようにしていこうと思います。また、将来、自分の望む職種に就き、社会に貢献できるように、基礎的な能力も身に付けていこうと思います。

共生システム理工学類4年

しのぶ育英奨学金をいただけたことで、生活費を稼ぐために行っていたアルバイトの時間を減らすことができ、卒業研究や資格の勉強に専念することができました。卒業研究では、既存のグラフ理論のアルゴリズムを計算機上で実装し、シミュレーションを行いました。また、その結果を解析することで既存のアルゴリズムを改良するアイデアを見つけて論文にまとめました。卒業後は、共生システム理工学研究科へ進みます。

資格の勉強では、台風19号の影響で受験することができませんでしたが、基本情報技術者試験の勉強に時間を使うことができました。今後は、応用情報技術者試験に挑戦したいと考えています。